



森田 則子

寄り添う子育て支援

**問** グリーフケア（流産や死産などの周産期の死を含む、子どもを亡くした家族への行政支援）の産後ケア事業を活用した取組みを問う。

**答** 母子手帳交付の件数は、昨年30件で、その中で実態を把握するのは難しいが、必要な支援に取り組むと共に、家族への配慮や支援については、行政手続の共有や、グリーフケアに特化した相談窓口を設けてはどうか。

**答** 先進的な自治体を参考にし、府の相談窓口を案内するなど、必要な支援については繋げていきたい。

一、子育て世代に寄り添う、細やかな支援を  
二、男性用個室トイレに、サニタリーボックス設置で快適に

**問** 保育所での紙おむつの廃棄処分について、要望してきたが経過を問う。

**答** 8月1日から保育所で一括処分を行っている。処分方法については機材を導入し、今議会に補正予算を計上した。

**問** 前立腺がんなどの治療や手術を受けた男性のために尿漏れパット廃棄用に、公共施設の男性トイレにサニタリーボックスを設置してかどうかが。



**問** 3歳児検診の弱視検査

に、早期発見・早期治療に繋げるため屈折検査機器を導入してはどうか。

**答** 本町は、高齢化が42%を超えているので高齢者のオムツということも大きな課題である。一日も早い解決のために設置が一番効果的であると考え、早い時期に設置したい。

**答** 大阪府で検査機器の導入支援事業が実施されている。この事業の活用を含め必要な対応について検討を行う。



サニタリーボックス

**問** 目的停留所増設の提案があるが、バス路線上の目的地も認めるべきではないか。

**答** 導入の前段階でそういう議論もしている。基本的に公共施設は認めるが、バス路線が走っていない時間帯という区分もしている。指摘の点については難しいと考える。

**問** 利用状況について。  
**答** 7月からの2か月間で運行回数56回、延べ74人が利用。交通モードが地域に浸透するまでに時間がかかると考えられ、利用枠に余裕のある状況である。



**問** 2コースの区分をなくせば利用回数が増えると考えられるが。

**答** 週を通して利用したいという意見もあるが、まだ2か月の実験期間であり、たちまち曜日を変更することは考えていない。



中西 頤治

乗合タクシーについて

**問** 目的停留所増設の提案があるが、バス路線上の目的地も認めるべきではないか。

**答** 導入の前段階でそういう議論もしている。基本的に公共施設は認めるが、バス路線が走っていない時間帯という区分もしている。指摘の点については難しいと考える。

**問** 役場内の部署が感染源とならないように検査、隔離を提案していたが現状はどうか。

**答** 府が新型コロナウイルス感染症の後遺症についてリーフレットを作成している。本町でも保健センター窓口を設置し、町ホームページにも府ホームページへのリンク先を掲載するほか、日々の電話相談等でも対応を行っている。

**答** 窓口業務および、保育所、児童クラブの職員には症状がなくても簡易検査キットで検査を行っている。検査の結果、陽性が判

一、地域公共交通の実証試験  
二、新型コロナウイルス感染症対応

**問** 目的停留所増設の提案があるが、バス路線上の目的地も認めるべきではないか。

**答** 導入の前段階でそういう議論もしている。基本的に公共施設は認めるが、バス路線が走っていない時間帯という区分もしている。指摘の点については難しいと考える。

**問** 役場内の部署が感染源とならないように検査、隔離を提案していたが現状はどうか。



**問** コロナ後遺症への対応は。

**答** 府が新型コロナウイルス感染症の後遺症についてリーフレットを作成している。本町でも保健センター窓口を設置し、町ホームページにも府ホームページへのリンク先を掲載するほか、日々の電話相談等でも対応を行っている。

**答** 窓口業務および、保育所、児童クラブの職員には症状がなくても簡易検査キットで検査を行っている。検査の結果、陽性が判